

松尾小学校への出前講座（飯田市議会議員による出前交流授業）概要

1 目的

自治基本条例第23条に規定する開かれた議会運営に資するため、子どもの頃から行政や議会に関心を持ってもらう機会とする（「議会改革・運営ビジョン実現に向けた取り組み」の記載から）。

（参考）学校が設定したねらい

- (1) 社会科単元「私たちの願いをかなえる政治」の発展学習として、飯田市議会議員のみなさんのお話をお聞きし、飯田市議会のしくみや、議員の方々の仕事を知る。
- (2) 議員のみなさんと和やかに交流することで、卒業前の心に残る思い出を作る。

2 日時

- (1) 平成27年1月27日（火） 午前8時20分から午後1時10分まで
- (2) 平成27年1月28日（水） 午前8時40分から午後1時10分まで

3 場所 飯田市立松尾小学校

4 市議会側参加者

- (1) 正副議長
- (2) 広報広聴委員会委員 8人
- (3) 議会事務局職員 1人

5 学校側参加者

- (1) 対象児童 飯田市立松尾小学校6年生児童 4クラス130人
- (2) 松尾小学校 6年生担任教諭 4人
- (3) 松尾小学校教務主任

6 内容

- (1) 1日の日程
 - ア 出会いの会（初日のみ） 全員での顔合わせ
 - イ 1クラスでの講座及び交流
 - ウ 別の1クラスでの講座及び交流
 - エ 講座交流を行った2クラスとの交流給食
- (2) 講座及び交流の内容
 - ア 前半の講座（40分程度）
 - (ア) 議長挨拶の後、パワーポイントを用い、議員から市議会についての説明
 - (イ) 議会の役割、議員の数、選挙の大切さ、本会議及び委員会について、飯田市のこと等を説明。終了時に副議長挨拶
 - イ 後半（35分程度） 1クラスを5つのグループ分け、各グループに議員2人ずつが入り、自由に質問の受け答えを行う。

7 終了後

- (1) 後日、小学校から貴重な学びができ、満足、感謝しているとの連絡とともに後日、児童の感想文の送付を受ける。
- (2) 児童の反応も概ね良好であった。

○松尾小学校への出前講座の反省（委員の意見まとめ）

1 よかった点

- (1) 勉強になった。
- (2) よい機会だった。
- (3) 児童と打ち解けて話ができ非常によかった。
- (4) 委員全員が説明者として関わることができてよかった。
- (5) 議員としての夢が一つかなった。
- (6) 議会及び議員を理解してもらうことにつながった。
- (7) 選挙の投票行動への啓発になればよいことだと思う。
- (8) 議員を子どもたちがどう見ているかを感じられるよい機会だった。
- (9) 飯田に住みたいという意識の醸成につながったことがよかった。
- (10) 一つのよい実績となった。
- (11) 教師の声を聴けたこともよかった。
- (12) 若者が飯田に帰ってくるきっかけが必要ということが分かった。
- (13) 子どもと親しく話ができ、子どものことも分かり、子どもにも分かってもらうことができ、一定の評価ができる。
- (14) 議員でなければ伝わらない話ができたとと思う。
- (15) 飯田に住みたい、帰って来たい、という子が増えた授業の方法がよかった。

2 改善すべき点、今後の課題等

- (1) 中高生に対するこういった取組などこういった取組をどう広げていくかが課題
- (2) 今後の活動にどうつなげていくかが課題
- (3) 今後このような活動をどう行っていくか、検討する余地がある。
- (4) 「前向きに検討する。」と答えたことがしっかり感想に書かれている。発言には留意すべきと感じた。
- (5) ノートはとらない方針だったようだが、どうなのか。
- (6) 市長の任期を2年、と誤った認識をしてしまった児童がいる。

3 その他感想

- (1) プレゼンが難しかった。
- (2) 心配したが、気楽に話ができた。

4 今後に向けて

- (1) 出された意見
 - ア 続けていってほしいし、続けるべきだ。
 - イ 開催には時期的な問題がある。要望があったら行ける、という形が大切では？
- (2) 集約 次期以降も希望があれば取り組むという方向で申し送る。